

## 植物多様性センターの「イガホオズキ」

ナス科の多年草で全国に分布。山地林内に生えます。花は葉腋からつき淡黄白色の花冠は広鐘形で浅く五裂します。萼は果実に合わせて膨らみ、袋状にならず表面に接して包み込み、先端部に口が開きます。萼の表面にはまばらに針状の突起が並び名前の由来になっています。これは花時の萼表面の短毛が発達したものです。東京都では区部 EX(絶滅)、北多摩 CR(絶滅危惧Ⅰ類)、南多摩・西多摩は共に NT(準絶滅危惧)に指定されています。当センターでは学習園内に植栽していないため、情報館の窓口にて展示しています。



軟毛に覆われたつぼみ  
萼のこの毛が後に毬になる



葉腋に1~4個の花がつく  
開花前(右)、中(下)、後(上)の花



花冠は浅く五裂している  
花の直径は1cm程度



花卉が残る実、白く熟す  
まばらに毬がついている